

【化粧水】比較試験

【試験方法】

1、洗顔後のお肌に、向かって画面左側に未加工化粧水、Beauty Wave 加工を施した化粧水をそれぞれ塗布しその間動画を撮影し、スタート時と終了時を切り出してスクリーンショットを作成し横に並べる。

【結果】



2、Beauty Wave 加工を施した化粧水を左側に、未加工の化粧水を右側に塗布し確認。

【結果】



3、浸透試験：腕

【試験方法】：腕に未加工と Beauty Wave 加工を施した化粧水を塗布し浸透度合いを観察。



【結果】

未加工：なかなか浸透せず

Beauty Wave 加工：塗布直後に浸透

4、浸透試験(段ボールに塗布し比較)

【試験方法】：段ボールに未加工と Beauty Wave 加工を施した化粧水をそれぞれスプレーし乾燥までの経過を見る。

【結果】



未加工より Beauty Wave 加工を施した化粧水の方が乾きが遅い。

また、乾燥した段ボール表面の浸透の後の形状に差があり、未加工は凸凹が目立つ。

これは分子の粗さと思われ水分構造体、分子サイズ、表面張力の低下による差によるものと考えられる。低分子化された水分子で表面張力が低い方が浸透率は高くなるため、

Beauty Wave 加工を施した化粧水のほうが凸凹が少なく、また保湿時間、浸透率が高くなった。

【まとめ】

Beauty Wave 加工を施した化粧水は素早く浸透。未加工はなかなか浸透せず、化粧水が残った。腕に塗布した化粧水も同様の結果となった。